

SGH企画：朝日大学医療特別セミナー＆学長講演会

朝日大学医療特別セミナー

日 時：平成28年2月20日(土) 10:00～15:30

内 容：朝日大学看護学科・村上記念病院見学 参 加：1・2年生34名 教員2名

朝日大学・大友克之学長講演会

日 時：平成28年3月4日(金) 13:00～14:20(80分)

演 題：「21世紀を走る ～今学ぶべきこと～」

講 師：朝日大学学長 大友克之氏(医学博士・村上記念病院医師)

参 加：1・2年生40名 教員3名

- 朝日大学看護学科と村上記念病院を見学し、先生方や看護師の方々のお話をうかがいました。最新鋭の医療機器の説明を受け、看護師さんや学生さん(関高卒業生)と交流し、有意義な時間を過ごしました。
- 大友克之先生より、医療現場の実情や医療を志す者の心得、入試対策など、高校生活を送るうえで有益なお話をうかがいました。



<医療特別セミナーの感想>

- 看護師などの医療系の仕事に興味があり、学内や病院でどんなことをしているのか知りたかったので参加しました。病院では患者さんのことを考えて、笑顔で、同じ目線で、患者さんの意見を取り入れたりすることを知りました。看護師さんからは、実際に仕事に従事している人にしかわからないことを聞くことができ、今までより看護師の仕事が理解できるようになったと思います。母性看護学の講義では、命の尊さについて今までより深く考えることができました。
- 楽しくて親しみやすい看護師さんで、疑問に思ったことを気軽に質問できたのがよかったです。実際に体験されたことを教えていただきよい勉強になりました。母性看護学の講義では、改めて命の大切さを学びました。私を命がけで産んでくれた母にもっと感謝しながら生きていきたいです。

<学長講演会の感想>

- 医療や医学について現代の社会と関わらせながら最近の傾向をわかりやすく説明してくださいました。僕が特に興味を惹かれたのは、今、医療もグローバル化が進んでいて、身体のことをつかさどる医師でさえも英語が必要になってくるということです。また面接や小論文など、様々な表現力もまた必要となってきます。僕はこれから受験に必要な教科だけでなく国際化に対応できるように様々な分野で学び幅広く知識を広げて行きたいと思いました。そのためにも新聞を読んだり、読書をしたりと、できることから少しずつ初めて行こうと思いました。
- 今回の話で感じたのは、自分にも医療の分野は無縁ではないということです。現代社会の教科書から話が始まったように、医療は経済や社会福祉に密接な関係を持っていて、一つの独立した学問分野ではなく、複合的なものであるということを感じました。現代社会という観点から今日は医療について掘り下げていきましたが、例えば医療機器にスポットを当てれば工学、生命倫理についてならば文学というように、様々な観点から医療に関わっていけるのではないかと思います。僕は医学部志望とは違うけど、ほかの観点から医療に関わるという考え方を今日の話を通して得ました。
- 今日の講演会では、現代の社会と医療を結びつけたとても興味深い話を聞く事が出来ました。このままでは日本の社会保障制度が崩壊してしまう。こんな事を聞いてとても不安になりました。アメリカのような制度も長所がたくさんあるけれど、日本の制度も悪い所ばかりではないので、日本とアメリカをいい感じに取り入れた制度が将来できるといいと思いました。医師が増えすぎると医療費が増えすぎてしまう。反対に少なすぎもいけない。ただ増やせばいい訳ではないと言う事を知りました。また、医学部が入りやすくなっている事にも驚きました。中でも一番心に残ったのは練習には努力と辛抱を必要とするという言葉です。やはり楽をして何かができるようになる、何かを得ることはできないと痛感しました。私は薬剤師を目指しています。そのためにもっと数学の力をつけようと思いました。また、効率的に動くと言う事が自分の中での目標なので、逆算してやるべき事をやれるようにします。
- 今日の講演に聞いて医療は地域社会に深く密接していることが分かりました。今日本では少子高齢化が深刻化になってきていて、医療保険制度や年金問題があることが分かりました。私たちが働くときには約2人で1人の高齢者を支えなくてははいけません。私たちが高齢者になり支えらる側になったとき十分な福祉を受けられるのか不安になりました。医療人になるためには、なりたいという強い気持ち、病める者に対するやさしい心、広い視野と豊富な知識が必要だということがわかりました。私は広い視野を持つことができていると感じることがあるので、日頃から新聞を読んだり、たくさんの人との関わりを持ったりして、広い視野を持てるようにしたいです。この講演でもっと医療について興味を持つことができました。